

秋吉台

プランターへの灌水は人間の責任

7月下旬から約1か月の間、晴天続きでした。2回ほどパラパラと雨が降りましたが、雨量というほどでもありませんでした。これまで「晴天すなわち好天」の認識でしたが、そうではない気がします。これほど猛暑が続くと「雨天もまた好天」と、考えようにはそう思います。地面が乾燥してしまったためか、ヒナノキンチャクなど小さな花は枯れてしまっているところもあります。広大な秋吉台はプランターと違って人間が水やりをすることができません。いくら日照りが続いたとしてもじっと堪えて、いつか降るかも知れない雨を待たなければなりません。それも自然の厳しさなのです。



季節の花

山菜の女王「コシアブラ」

ヤブミヨウガ 林縁など少し薄暗いところに生えるツユクサ科の多年草。白い小さな花が輪生して数段になり、下から咲いていきます。葉がミヨウガに似ていることからヤブミヨウガといいますが、ミヨウガの仲間ではありません。

カラスビシヤク 畑の土手などでよく見られるサトイモ科の多年草。雑草として抜いても、いつの日かまた生えています。面白い花なので、個人的には鉢植えにして楽しんでます。

コシアブラ 春の新芽は山菜の女王といわれるウコギ科の落葉低木。確かに香りも良く美味しい山菜です。この時期になっても特徴のある葉なので、容易に見分けられます。



ヒマワリ

花が咲いたら ヒマワラス??

太陽の動きに合わせてまわるというヒマワリ。去年採種したタネを播いて育ててみました。ツボミができた頃から観ていると、朝はおおむね東の方を向いており、太陽が真上になる昼頃は上を向き、夕方近くには西に傾いています。が、次に東を向くのはいつなのかは分かりません。薄明るくなる頃に向きなおすのでしょうか。そして花が咲き始めると、太陽を向いてまわることはなくなり、どちらかという東か南の明るい方を向いて咲いたままになりました。



キョウリュウヒョウタン

カボチャ か ヒョウタン か?

去年の春、インターネットで入手したタネを播いて育てたところ小さな実が2個収穫できました。今年そのタネを採って育てています。2株しか育ちませんでした。現在の生育状況は順調です。日照りで枯れないように、夕方にはバケツで水をやります。その甲斐あってか合わせて8個が育っています。去年とは違って本来の平均的な大きさで、秋の収穫が楽しみです。別名キョウリュウカボチャともいいますが、夕方から咲き始める白い花はヒョウタンと同じです。



カラスウリ

暗闇に広がる白いレース

雌雄異株のツル性のウリ科の多年草です。道路沿いや林縁などで他の植物にからまるように繁殖しています。白い花は夕方暗くなる頃から咲き始め、きれいなレース状に展開します。見頃は20時過ぎでしょうか。白い花だからといって真っ暗な中では、懐中電灯で照らしても見つかりにくい。観察するためには、明るいうちに今夜開花しそうなツボミを見つけて、場所を確かめておいた方が良いでしょう。



10月の行事

- 10月19日(土) 観察会「秋吉台の化石」
秋吉台の化石を観察しながら秋吉台の成り立ちを学びます。
- 10月26日(土) 花の観察「花盗人の花日記」
秋吉台を散策してムラサキセンブリなどの秋の花を楽しみましょう。